

北海道環境基本計画の指標群について

R6. 3. 1

1 指標群設定の基本的な考え方

一律の「指標」ではなく、階層構造を持った「指標群」という考え方に基づき、目標の達成状況及び施策の進捗状況の把握を行っていくこととします。

(北海道環境基本計画〔第3次計画〕(P20))

2 指標群の考え方

	区 分	役 割	目標値
指標群	指 標	目標の達成状況を示すもの (目標値の設定が可能であり、環境基本計画に掲げる施策の基本的な方向性や施策の方向など、 <u>目標の達成状況を直接示す</u> ことができるものを指標として設定) 【例】 (施策の方向性) ・二酸化炭素など温室効果ガスの発生を抑制する(指標) ・温室効果ガス実質排出量	有
	個 別 指 標	目標の一部の達成状況を示すもの (目標値の設定が可能であり、環境基本計画に掲げる施策の基本的な方向性や施策の方向など、 <u>目標の達成状況の一部を示す</u> ことができるものを指標として設定) 【例】 (施策の方向性) ・森林等における二酸化炭素吸収源対策を推進する(個別指標) ・森林吸収量	有
	補 足 データ	個別施策の進捗状況を把握する、また、目標の達成状況の評価を補足し、今後の施策の方向性などの分析に使用するもの (目標値は設定できないが、 <u>進捗状況が把握できるもの</u> 、また、 <u>施策の方向性などの達成状況の評価を補足するもの</u> で、今後の施策の方向性などの <u>分析に活用できるもの</u> を補足データとして設定) 【例】 (施策の方向性) ・フロン類の管理の適正化などを推進する(補足データ) ・フロン類の回収量	無